

Editor's Choice

今月の編集部オススメのソフト&ハード

今月はCU-SeeMeに最適なキャプチャー機能付きビデオカメラ「RUCOLA」と家庭用ゲーム機のセガサターンを利用してWWWのホームページを見ることができる「SEGA SATURN インターネット」、マイクロソフトの新しい電子メール・ネットニュースソフト「Mail and News」、使い勝手のよいFTPソフト「FTP Explorer」、液晶が付いてパソコンとのデータのやりとりがスムーズにできる富士フィルムのデジタルカメラ「DS-7」だ。

今月のラインナップ

20,000円を切ったキャプチャー付きビデオカメラ

RUCOLA

発売元：株式会社マクニカ



家庭用ゲーム機でインターネットに手軽にアクセスできる

SEGA SATURN インターネット

発売元：株式会社セガ・エンタープライゼス



マイクロソフトの新しい電子メール・ネットニュースソフト

Internet Mail and News

発売元：マイクロソフト株式会社



ウィンドウズ95のエクプローラと同じ感覚で使えるFTPソフト

FTP Explorer

作者：Alan Chavis



液晶と着脱可能なメモリーを搭載したデジタルカメラ

DS-7

発売元：富士フィルム株式会社



付録のCD-ROMに収録

このコーナーの見方



市販の
ハードウェア製品



市販の
ソフトウェア製品



シェアウェアの
ソフトウェア



フリーウェアの
ソフトウェア



ウィンドウズ95用



ウィンドウズ3.1用



ウィンドウズNT用



OS/2用



マッキントッシュ用



UNIX用



動作環境



発売元



電話番号



価格



関連情報



バージョン



作者/開発元



入手先



付属品



ファイルサイズ
最速転送時間

[注]「最速転送時間」とは、28800bpsのモデムを使って圧縮なしでファイルを送った際の、理論上で最速の転送時間を意味します。ダウンロードするときの目安としてください。ファイルサイズ(バイト)×10÷28800で計算しています。端数は切り上げています。



20,000円を切ったキャプチャー付きビデオカメラ

ルコラ

RUCOLA



19,800円



株式会社マクニカ

ここがスゴイ!

- ① キューカムをしのぐ低価格
- ② エンハンスドCU-SeeMeとの親和性が高い

おすすめ度



手軽に楽しめるインターネット上のビデオ会議システムといえば「CU-SeeMe」だが、そのCU-SeeMeを楽しむのにキャプチャー付きビデオカメラの「キューカム」を使っている人は多いと思う。エンハンスドCU-SeeMeを販売するWhitePine社の日本代理店であるマクニカが発売した「RUCOLA」は、キューカムと同じビデオキャプチャー機能が付いたビデオカメラだ。カラー版キューカムの39,800円（日本語版）を大幅に下回る19,800円という低価格で発売した。

ついに20,000円を切ったキャプチャー付きビデオカメラ

キャプチャー機能付きビデオカメラの利点は、価格と手軽さだろう。とくにCU-SeeMeのように、インターネットの転送速度が十分でないために高画質を期待できないような環境では、ビデオキャプチャーカードとCCDビデオカメラではオーバースペックだったし、価格も高かった。キャプチャー機能付きビデオカメラは「多少画質が低下してもいいから、とにかく面倒なことを考えないでCU-SeeMeを楽しみたい」という人には最適である。従来はそのような製品はキューカムだけだった。今回キューカムのライバルとも言える製品が初めて登場したわけだが、その価格は20,000円を切る19,800円という意欲的な価格となっている。また、キューカムにはなかったPC-98用のモデルも用意されている。98ユーザーにとっては待望の製品というわけだ。機種ごとに接続するコネクタの形状が違うため、買うときには自分のパソコンに対応しているパッケージかどうか気を付けよう。

インターネット上の動画データ生成には十分の実力

使用しているCCDは320×240で約8万画素。開放f値は2.8となっており、CU-SeeMeで使うぶんには十分なスペックだろう。筐体はコンパクトで、キューカムに比べてかなり小さく感じる。フォーカスは手動で筐体上部にあるフォーカスリングで調節する。キューカムはなんといってもその本体と三角形をした設置台を組み合わせたときのユニークな形で有名だが、RUCOLAはそれに比べるとオーソドックスな形だ。キューカムと違って設置台と本体は一体型になっている。フォーカスリング以外には可動部分がなく、台座を固定したまま上下左右に首を振ることはできない。丸い接点部分にはゴムの滑り止めが貼ってある。

▶ 電源はキーボードポートから取得

電源はキューカムと同様、キーボードポートから取得するようになっている。RUCOLAからはプリンターポートにつなぐコネクタとキーボードポートにつなぐ2股のコネクタと2つ出ている。キーボードコネクタと本体との間に2股のコネクタをかませる。電源部分を持たないため、キューカムと同じようにノートパソコンと組み合わせて使える。



① 本体はキューカムに比べるとかなり小さい

試用レポート

▶ インストールは簡単

エンハンスドCU-SeeMeで試してみた。今回お借りしたのはPC-98用のもので、PC-9821Xa7（CPUはペンティアム75MHz）で試してみた。

インストールには付属のセットアップディスクを使う。中にある「setup.exe」ファイルをダブルクリックするだけですぐに終わるので初心者にも安心だ。エンハンスドCU-SeeMeがセットになったパッケージも29,800円で発売しており、CU-SeeMeが主な目的の人にはサポートの面でも安心である。

▶ CU-SeeMeでの使用には十分な画質

キャプチャー機能付きビデオカメラの能力はパソコン側のCPUに依存するが、今となっては比較的遅い部類に入るペンティアム75MHzでの使用でも、CU-SeeMeでの使用には十分使える感じである。マクニカでは160×120ドットで最高で毎秒12フレームのパフォーマンスが出るとアナウンスしている。

気になる点もある。台座と本体が一体化して固定されているので、映すときに細かい位置調整ができない。この点はキューカムと比べると少し使い勝手が悪い。とくに上下に首を振ることができないので、モニターの上に置いて使う場合は位置の調整が少々難しいだろう。ただ、これだけのスペックで2万円を切る価格はやはりお買い得である。（編集部kataoka@impress.co.jp）



② CU-SeeMeでの使用には十分使える画質

RUCOLA



株式会社マクニカ



045-939-6140



19,800円（カメラのみ）

29,800円（エンハンスドCU-SeeMe付属）



セットアップディスク



家庭用ゲーム機でインターネットに手軽にアクセスできる

セガサターン

SEGA SATURN インターネット



14,800円



株式会社セガ・エンタープライゼス



ここがスゴイ!

おすすめ度

- ① パソコンよりも設定が簡単で手軽
- ② 操作方法が簡単でだれでも扱える

「バーチャファイター」ができる家庭用ゲーム機として人気のセガサターンがインターネットにつながった。専用モデムをつなぐだけで、WWWのホームページを見ることができるのである。ゲームマシンとはいえ、最近のものは高性能なCPUを使っているため、WWWブラウザ程度のアプリケーションであれば十分に実行できる。ただし、ハードディスクがない、メモリが小さいなどの制限があり、WWWブラウザを実現するのはそう簡単なことではない。しかし、すでに家庭に入り込んでいるゲーム機は、パソコン以上にインターネットに参加するユーザーを増やす可能性がある。そういう意味で、注目すべき商品と言えるだろう。

▶ ゲーム機でネットサーフィンできる

必要なのは、セガサターン専用モデムとWWWブラウザなどが入ったCD-ROMだけだ。電話と家庭用テレビにつながれば、WWWを見ることができる。値段は14,800円だ。

専用モデムは本体上面奥にあるカートリッジスロットに装着する。このモデムは、「セガサターンモデム」と呼ばれ、14400bpsのものである。

このモデムには、「Line」と「Tel」の2つの端子があり、さらに「セガサターンメディアカード挿入口」というコネクタが用意されている。これは、XBAND（カタパルト社の通信利用対戦システム。国内ではスーパーファミコン対応で現在は運営されている）対応のゲームを行う場合にここにカードを挿して利用する

ということだ。モデム自体は、インターネット専用ではなく、こうした対戦ゲームなどでも利用することを想定した「汎用」の周辺機器なのである。

▶ 操作画面はゲーム的

パッケージには2枚のCD-ROMが付属する。一方はニフティサーブのGUIアクセスソフト「パッドニフティ」だ。

もう一方は、WWWブラウザとTCP/IPやPPPの機能が付いた「セガサターンインターネット」で、専用モデムをスロットに差して電話線をつなぎ、このCD-ROMをドライブに入れるだけでインターネットに接続できるようになる。ただし、利用できるのはWWWの閲覧だけで、電子メールやネットニュースの機能はない。なお、評価したソフトウェアはどちらもベータ版である。

このCD-ROMには、いくつかのホームページのダイジェスト版が入っており、実際にアクセスすることなく、いろいろなホームページを見ることができ、気に入ったものがあれば、プロバイダーに接続して実物を見ることができる。このあたりは結構ゲーム的で、画面に島の絵がでて、そこにある宝箱を開けると、いろいろなページが出るようになっている。

また、おすすめのホームページの一覧も入っており、リストから選べるようになっている。

▶ プロバイダーに加入していない人にも配慮

通常、インターネットへの接続にはプロバイダーとの契約が必要だが、このセットには、15分間の無料アクセスができる「東京インターネット」の「みてねっとカード」と共同VANの「Hihgway Internet」の体験IDなどが入っており、購入後すぐにアクセスできるようになっている。

アクセスには、プロバイダーのアクセスポイントへの電話番号やDNSのアドレスなどを設定するが、この設定は、セガサターン内蔵のバックアップメモリに書き込まれる。このため、一度設定すれば、再度設定する必要はないが、パスワードも記録されるため、設定されているセガサターンを使えば、他人も簡単にアクセスできてしまう。まあ、家庭用ということなので、特に問題はないと思うが、マニュアルには、セガサターンを他人に貸したり、譲ったりする場合にはバックアップメモリーを消去するように注意書きがある。

④ モデムをスロットに差したところ。通常のモデムと同様、電話機をつなぐためのジャックもあるので、つなぎっぱなしでも使える



▶コントロールパッドで全部操作できる

オプションのキーボードを使うと文字入力が簡単になるが、ソフトウェアキーボードにより、セガサターンに付属するコントロールパッドでもすべての操作ができる。

このソフトウェアキーボードでは、かな漢字変換や郵便番号から住所への変換も可能で、HTMLのフォームを使ったページなどもちゃんと利用できる。また、URLの入力に便利のように「www」とか「co.jp」といった文字列が登録されている（URLの入力はデフォルトがhttp://となっている）。

アクセスの主要な操作は、すべてコントロールパッドでできるようになっている。セガサターンのコントロールパッドには9つのボタン（A、B、C、X、Y、Z、L、Rおよびstart）と方向ボタンがあり、これに機能が割り当てられている。ネットスケープなどでツールバーに割り当てられているようなメニューは、「start」ボタンを押すと現れるメニューが相当する。ここでは、再読み込みやブックマークへの登録などが行える。

方向ボタンで、カーソルを動かかし、Aボタンで決定、Bボタンで中止、Cボタンで戻るといのように、操作は、RPGゲームとそう変わらないものだ。もともと、WWWブラウザもマウスでクリックするだけの操作なので、コントロールパッドでの操作は、別段無理のあるものではない。むしろ、画面スクロールなどのボタンがあり、両手ですべて操作できるので、ネットサーフィンにはこちらのほうが向いているかもしれない。

▶ブックマークへの登録も可能

気に入ったページがあれば、ブックマークへ登録しておくこともできる。これは99か所まで登録可能で、これも内蔵のバックアップメモリーを使う。

画面は、上部にページタイトルとアクセス状況が表示してあるだけでいたってシンプルなものである。前述のようにボタンでスクロールが行えるので、スクロールバーも必要ない。画面より大きなページでは、カーソルが端にあるとカーソルの形が変わって、その方向にスクロールが可能であることを示す。

試用レポート

▶パソコンとは少し違う操作感

プロバイダーに接続してアクセスを行ってみた。プロバイダーはBekkoameを使ったが、特に問題もなく1回で接続が完了した。設定さえちゃんとしておけば問題はなさそうである。ただ、モデムには状態表示のLEDもなく、モニタースピーカーもないために従来の環境になれているパソコンユーザーにはなんともいえない不安がある。まあ、心理的なもので、パソコン通信もしたことのないユーザーには、かえっていいのかもしれない。

モデムが14400bpsなので、グラフィックデータのロードにちょっと時間がかかるようだが、混んでいるプロバイダーや多数がアクセスしているサーバーでは、モデムの速度に関わらず待たされることもあるので、予

想していたよりは、ストレスも少ない。ただ1ページが長い場合に、ちょっと待たされる感じがある。たとえば、NTTの日本の新着情報のようなページのアクセスは、読み込みにずいぶん時間がかかる。こうしたページでは、モデムの速度がはっきりと出てしまうようである。なお、一度読み込んだホームページをメモリーに多少は蓄積するようで、再度のアクセスは多少時間が短くなるようだ。

画面上部に、HTMLの受信（青い帯）、グラフィックの受信（赤い帯）を示す帯が表示されるため、動いているか、それともデータがとだえているかの判断はできる。混んでいるときなど、パソコンを使っているときも、転送がとだえてしまうことがあるが、そのあたりもいちおう判断ができるので、エラーなどで

転送が止まっている場合にも対処は可能だ。また、接続時間もここに表示されるので、つい、遊びすぎて電話代がうなぎ登りといったことも防げる。

▶ショックウェーブには未対応

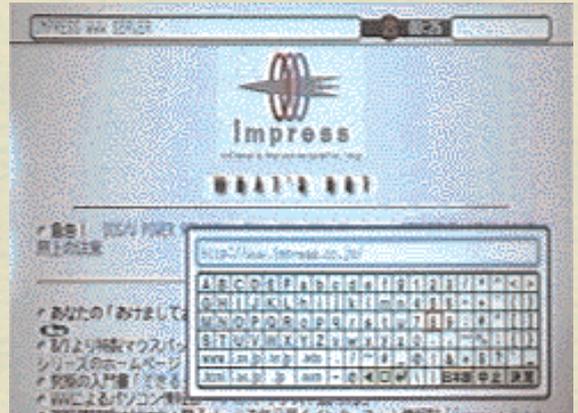
対応しているのは、標準的なHTMLの範囲で、ネットスケープナビゲーターやインターネットエクスプローラーで拡張された独自の表示機能には対応していない。表の表示はできるが、フレームの表示は行えない。また、当然ながら、ショックウェーブのプラグインにも対応していないので、こうしたページの表示もできない。オーソドックスなWWWブラウザといったところか。

なお、電子メールの機能もないので、「MailTo」タグによるメール送信もできない。ただし、フォームによるメール送信は、システム側の機能を使うため、対応可能である。アンケートや登録などのフォームは利用できるもので、それほど問題はないだろう。

パソコン用のWWWブラウザは、プラグインなど、拡張の方向に向かっているが、本来のWWWでは、さまざまな種類のマシンで同じようにアクセスできることを目的としている。良心的なサイトでは、こうしたブラウザのために、特殊機能を使ったページを別にしていたり、テキストのみの表示ページを持っているものである。そういう意味で、このセガサターンインターネットでも、まだまだ十分にWWWのアクセスは可能である。なによりも手軽に楽しめるのが最大の特徴だ。TCP/IPだPPPだといった設定はまったく不要で、だれでも簡単に使うことができるシステムといえるだろう。（塩田紳二）



① ネットスケープのホームページにアクセスしたところ。英語は少し読みづらい



② URLを直接指定することもできる

SEGA SATURN インターネット

セガ・エンタープライゼス
0120-310279
(セガネットサポートセンター)

14,800円

モジュラーケーブル、インターネットアクセスソフト、パッド2つ、パーチャファイターリミックス、みてねっとカード、ニフティサーポイントロバック

http://www.aplix.co.jp/i_saturn/index.html (開発元の株式会社アブリックスのページ)



マイクロソフトの新しい電子メール・ネットニュースソフト

インターネット・メール・アンド・ニュース

Internet Mail and News



マイクロソフト株式会社



3.0 版を収録

ここがスゴイ!

おすすめ度

- ① 無償で利用できる
- ② クリックابلURL、メールアドレスが可能

マイクロソフトが初めてインターネット専用の電子メールとニュースの日本語クライアントソフトを登場させた。インターネットエクスプローラ3.0と同時に配布されたもので、名前のとおり、電子メール用のクライアントソフトとニュース用のクライアントソフトが2つ含まれたパッケージになっている。なお、両者とも利用するためにはインターネットエクスプローラ3.0ベータ2が同時にインストールされている必要がある。

▶ インターネットエクスプローラと似たインターフェイス
メールもニュースも一見してインターネットエクスプローラと似たユーザーインターフェイスを持っていることがわかる。もっとも特徴的なのは独特の渦巻き模様の背景が目立つ大きなツールバーと、3.0から採用された「e」をあしらった新しいロゴマーク。サーバーとの通信中はこのロゴマークの周りを半球型の地球がぐるぐる回り、処理中であることを教えてくれる。このツールバーはインターネットエクスプローラ同様、さまざまな形でカスタマイズすることができる。

ほとんどの処理はこのツールバーで指示し、そのほかの細かい処理はメニューバーから機能呼び出ししたり、マウスの右クリックメニューで指示を行ったりする。見慣れたインターフェイスに親しみを感じる人も多いかもしれない。

▶ 簡単な設定とダイアルアップ接続を考慮した設計
ニュースもメールも、最初の起動時には必要な設定を簡単に行うためのセットアップウィザードがかならず起動され、聞かれた項目に順番に答えるだけですぐ使えるようになる。このあたりはマイクロソフトの得意とするところだ。面倒な設定が簡単にすむのは初心者にとってもありがたい配慮といえる。

そして一般のダイアルアップ接続ユーザーにうれしいのが両方ともオフライン作業を前提とした設計がなされている点。メールは返信や新規メッセージの作成などがオフラインで行え、メールの送信、受信時にはダイアルアップ接続と切断を自動化させることができる。ニュースのほうは各ニュースグループのヘッダーをキャッシュ領域に持ち、新着メッセージのヘッダーを入手したあと、ダウンロードしたいメッセージにマークをつけ、一括でメッセージの内容をダウンロードしてオフライン状態でも読むことができる。複数のニュースサーバーの設定も同時に管理できるので、情報の入手と管理については自由度が高い。

また、メールもニュースも本文中にURLやメールアドレスがある場合には青色で強調表示され、マウスでクリックするだけで自動的に該当するURLのページをWWWブラウザで表示させたり、電子メールを作成したりすることができる。

▶ エクステンジブルクライアント利用者はすぐに乗り換えられる

特にメールのほうに関心が高いと思われるが、マイクロソフトが従来標準として用意していたエクステンジブルクライアント（受信トレイ）と比較すると格段の機能向上がはかられ、インターネット用電子メールソフトとしては一定の水準を満たしたものとなっている。エクステンジブルクライアントではシングルチャーター（署名）の機能のほか、受信と同時に指定したフォルダーに格納する振り分けの機能もなく、一般のインターネット用電子メールソフトと比較すると実に不便なものだった。

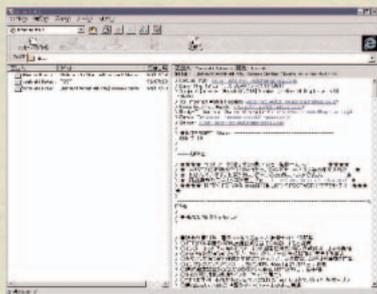
メールソフトにはコードラ・プロなど人気の高い市販のものもあるが、エクステンジブルクライアントを長く使ってきた人にとってはこのメールの登場はうれしいニュースに違いない。エクステンジブルクライアントで持っているアドレス帳やメッセージをすべてインポート、エクスポートの機能で交換、引き継ぎが可能なほか、メールの振り分けも署名機能も搭載され、細かい便利な機能が多数搭載されている。ユーザーインターフェイスも改良され、メールのタイトル一覧から選択するとすぐにプレビューウィンドウで内容が確認できるようになっている（ニュースも同様）。

▶ 現バージョンではやや問題あり

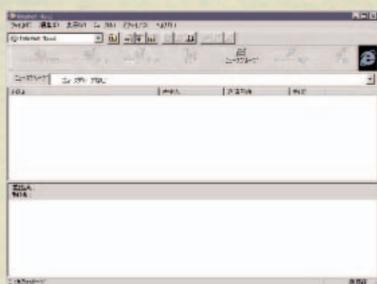
ほかにも、HTML形式でのメールの送受信など盛り込まれた機能は多い。ただし、今回試用したベータ3ではまだまだ解決すべき問題点も多く、ファイルの添付の機能を使用したときなどに不具合が発生し、場合によってはメールやニュースの送受信をする上で致命的な障害となることが確認できた。実際にインストールして使用するにあたっては、注意が必要だ。これらの問題はマイクロソフトも修正するとしているので、今後のバージョンアップに期待したい。

今月のCD-ROMにベータ版が収録されているので、細かい不満点などは、実際に使ってみようという要領を出してみるといいだろう。

(石橋文健)



① メール文中のURLとメールアドレスの部分の色が青く表示されている。クリックするとブラウザが起動したりメール送信画面になったりする



② ネットニュースソフト。インターネットエクスプローラによく似たツールバーが目立つ

Internet Mail and News



1.0 (日本語版)



マイクロソフト株式会社



963Kバイト/5分35秒



ウィンドウズ95のエクプローラと同じ感覚で使えるFTPソフト

エフティーピー エクスプローラ

FTP Explorer



Alan Chavis

ここがスゴイ!

おすすめ度

- ① ウィンドウズ95のエクプローラとほとんど同じ操作方法
- ② ドラッグ・アンド・ドロップをサポート
- ③ 同時に複数の操作ができる

ウィンドウズ用のFTPクライアントソフトの中で最近人気急上昇中なのが「FTP Explorer」だ。ウィンドウズ95のエクプローラとほとんど同じユーザーインターフェイスを持ち、簡単にファイルをドラッグ・アンド・ドロップするだけでファイルのアップロード、ダウンロードができてしまう。

▶ 操作方法は「エクプローラ」とほとんど同じ

ウィンドウズ用のFTPクライアントソフトにはいまだ決定版と言えるものがない。以前なら「WS-FTP」も、今では「CuteFTP」が人気だが、いずれもユーザーインターフェイスがやや面倒であったり、ウィンドウズ3.1のファイルマネージャーのような古いもので、決定版といえる地位を確立するにいたっていない。そんな中で、最近人気を呼んでいるのがFTP Explorerだ。

FTP Explorerはウィンドウズ95のエクプローラとそっくりなユーザーインターフェイスを持ち、ファイルのアップロードとダウンロードがいつもの感覚でドラッグ・アンド・ドロップでできてしまう。フォルダーごとドラッグ・アンド・ドロップすることで、複数のファイルをフォルダーごとすべて転送することもできる。また、今までのソフトならば、フォルダー（ディレクトリ）の移動をする場合には1つ1つ階層をたどっていかねばならなかったが、このソフトならばエクプローラと同様にフォルダーツリーを表示してくれるので、移動が実に簡単だ。フォルダーツリーも、現在作業中のフォルダーと、すでにファイル一覧を取得済みのところとそうでないところが色分けされて表示されるのでわかりやすい。とくにウィンドウズ95に慣れ親しんだ人にとってはいつもの感覚で使えて便利だ。

▶ バックグラウンド転送は便利

そしてこのソフトのほかにない便利な機能がバックグラウンド転送の機能だ。従来のソフトでは、たとえばダウンロードを始めるなどなんらかの処理を実行させると、その処理をキャンセルさせるか終了するまで待たなければ次の操作ができない状態になってしまうが、このソフトは同時にいろいろな作業ができる。たとえば、あるFTPサーバーのフォルダー「A」にアップロードをしている最中に別のフォルダー「B」に移動して、そこからファイルをダウンロードするといった同時処理が簡単にできるのだ。種を明かせば単にサーバーとのセッション（通信）を1つのソフトで複数持つという単純なことなのだが、今まで実現されることな

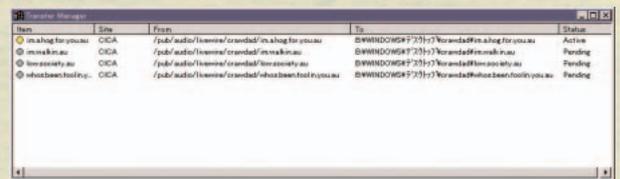
かったアイデア機能だ。

▶ 改善して欲しいところもあるが期待度大

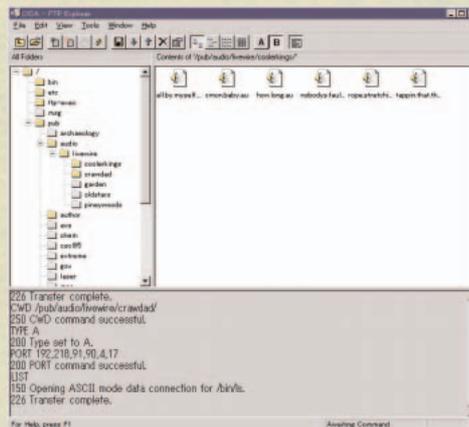
まだベータ版ということで、若干不足している機能もある。作者も認識しているのいずれ改善されると思われるが、フォルダーツリーにファイルをドロップして転送することができない、フォルダーツリーの中に自分のパソコンの環境が見えないなどといった機能不足がある。

一番の問題はインストーラーとアンインストーラーがないこと。展開したファイルを任意のフォルダーにコピーし、一部のファイルをウィンドウズの「SYSTEM」フォルダーにコピー、そして同梱されている「FTPXEXT.REG」というファイルをダブルクリックし、レジストリの内容を登録して一度ウィンドウズを再起動、という一連の作業を自分で行う必要がある。

現状ではやや足りない面もあるが、バージョンアップも頻繁で、ほとんどの問題点は作者自身が今後の改善点としてあげているので今後に多いに期待が持てる。現状でも、「やや制限のあるエクプローラ」と思えば、初心者にもおすすめできるFTPクライアントソフトといえるのではないだろうか。 (石橋文健)



- ④ ファイルの転送状況を表示するウィンドウ。複数のファイルをダウンロードすることもできる



- ⑤ エクスプローラと同じようにフォルダーがツリー表示される

FTP Explorer



0.000 (ビルド050ベータ版)



Alan Chavis



312Kバイト/1分52秒



<http://www.FTPx.com/>



¥ 69,800円

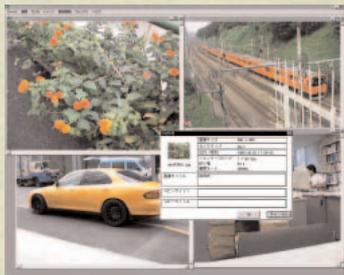
富士フイルム株式会社



① 持ちやすいデザイン。
カシオのQV-10と比べると少し大きい



② 側面にはメモリーカードを
入れるスロットがある



③ この価格帯の製品の中ではまずまずの画質

DS-7

富士フイルム株式会社

03-3406-2981

69,800円

メモリーカード、アルカリ単三乾電池(4本)、ハンドストラップ、データ転送・レタッチソフト

<http://www.fujifilm.co.jp/ds7/index.html>

液晶と着脱可能なメモリーを搭載したデジタルカメラ

ディーエス

DS-7

ここがスゴイ!

おすすめ度

- ① 見やすい液晶付き
- ② 画像サイズが最大640×480ドットのVGAサイズ
- ③ パソコンの読み込みはPCカードスロットとシリアルケーブルの2系統

富士フイルムからパーソナル向けの新しいデジタルカメラ「DS-7」が発売された。DS-7はその形といい、液晶付きの構成といい、パーソナル用デジタルカメラブームの立て役者であるカシオのQV-10Aを強く意識した設計となっている。

▶ カメラメーカーだけに画質にこだわった設計

撮像素子には1/3インチ正方画素の原色CCD、レンズはφ5.7mm(35mmカメラ換算38mm)と広角のTV-フジノン単焦点レンズを採用。絞りはF2.2とF8の切り替え式。シャッタースピードについては1/4~1/5000秒とレンジが非常に広い。感度はISO100相当。露出もホワイトバランスも自動で制御してくれる。望遠などの機能はないが、「マクロ/近/遠」の手動による3点フォーカス切り替えスイッチにより、9cmから無限遠までの広い撮影距離をサポートする。

▶ 表示がスムーズな液晶が付属

録画、再生、データ消去、セルフタイマーなど、動作モードの指定はダイヤル式のスイッチで素早く行うことができ、ちょうど右手の親指のあたりにあるので使いやすい。

画像サイズについては通常の640×480ドットとエコノミー記録モードの320×240ドットの2通りが選べ、これも撮影時にダイヤルスイッチで指定できる。エコノミー記録モードでは液晶の中央部に白い枠が表示され、狭くなった撮影可能範囲を知らせてくれる。QV-10Aと違い、シャッターボタンを押すまでの間に表示している液晶の動画表示は素早く、まるでビデオカメラの液晶ファインダーを見ているようだ。面白いことに、内蔵のビデオ出力端子からも同じ動画の信号が出力されているので、ビデオデッキやキャプチャカードに接続すれば普通のビデオカメラとしても利用できる。

▶ 記録にはSSFDCメモリーを使用

記録メモリーには世界で初めて超小型のSSFDCメモリーカード採用し、着脱が可能なおうえ、オプションのアダプターを使用することによりノートパソコンなどに搭載されているPCカードスロットで直接データを読むことができる。東芝が開発したSSFDCはコストが安く小型化できるというメリットを持っており、富士フイルムを含む5社が提唱している。現在発売されているのは2Mバイトのみだが、近く4Mバイトも登場する予定。たくさん撮影する場合もメモリーカードを差し

替えることで対応できる。2Mバイトで640×480ドットで約30枚、320×240ドットで約60枚記録できる。電源はACアダプター、アルカリ単三乾電池、リチウム電池が使える。アルカリで約100枚の撮影、120分の再生が可能という。

ケーブル(RS232C)を使用したデータ転送は別売のインターフェイスセットが必要で、簡単なレタッチや画像アルバムが作成できるソフトが付属する。SSFDCメモリー用のPCカードアダプターにも同じソフトが同梱されている。

試用レポート

▶ 電池の消耗が激しい

画質はさすがにカメラメーカーだけあって自然な質の高い結果が得られる。が、記録時のデータ圧縮率はかなり高いせいか、輪郭や細かい部分はやや再現性が乏しいように感じる。また、これは原理的にしかたがないが、撮影時の動画表示とケーブル経由のデータ転送時には激しく電池を消耗する。使い方によってはアルカリ電池での撮影枚数はカタログ値よりもかなり少なくなる。また、アルカリ電池は推奨されているパナソニックブランド以外のものだとかなり動作時間は短い。撮影時は極力動画表示を短くし、シャッターボタンを早く押すように心がけ、オプションのACアダプターはできるだけ入手したほうがよいだろう。シャッターボタンを押してからの記録時間は最長で9秒必要。画像再生も1枚表示するごとに約3秒かかる。このあたりはできれば改善を望みたいところだ。

▶ 全体的なバランスはよい

全体的にはバランスのいい実力を発揮し、とくに640×480ドットの記録サイズで液晶付き、あまりクセのない質の高い画像が得られるといった点には高い評価を与えることができる。また、安価なSSFDCメモリーカードの採用で差し替えが可能なおうえ、PCカードスロットで直接データが読み込めるところは大量に撮影を行うヘビーユーザーにも嬉しいところ。記録データ形式も一般的なJPEG形式であるため、そのまま一般のソフトで直接読み込むことができる。

大混戦のデジタルカメラ市場だが、パーソナル用途としてはおすすめの強力モデルと言っていられる。

(石橋文健)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp